宇宙の謎を解明するために、
驚異的な速さで掘り進んできたトンネルがある。

3000m、まっすぐに延びるトンネルが2本。「スーパーカミオカンデ」が立地する一大科学拠点として名高い
岐阜県飛騨市神岡町で進められたのは「大型低温重力波望遠鏡“KAGRA（かぐら）”」を設置するトンネル工事である。
KAGRAは東京大学宇宙線研究所が計画する「重力波」の観測装置。
重力波とは、アインシュタインの一般相対性理論でその存在が予言された、重力による時空のゆがみが波のように伝わっていく物理現象のこと。
重力波の検出により様々な宇宙の謎が解明されると期待されているが、これまで直接検出されたことはない。
一刻も早く観測を始め、世界に先駆けて重力波を検出したい。そんな研究者たちの期待に応えるために、
私たち鹿島建設は、最高月進359メートルという、いままでにない速さでトンネルを掘り進めた。
このトンネルの名は「KAGRA（かぐら）トンネル」。世界初の重力波検出という科学史に残る偉業で、世界中の科学者に注目される日も、遠くない。

100年をつくる会社
鹿島
www.kajima.co.jp